高等学校公民

解答はすべて解答用紙に書きなさい。

［５］　次の文を読んで，下の(1)～(5)の問いに答えなさい。

日本人は，古来より積極的に仏教や儒教等の外国の思想を取り入れ，その影響を受けながら日本固有の思想を独自に変容させ，その内容を豊かにしてきた。例えば，元来仏教思想の基本である無常という考えは，日本においてはそれが移りゆくものへの細やかな感受性や，常なるものへのあこがれを含む独自の美意識と結びついていった。鎌倉時代末期の(ａ)が述べた「いかにもののあはれもなからむ。世はさだめなきこそ，いみじけれ」という言葉は，そのような感受性を示している。また，世阿弥は①「秘すれば花なり。秘せずは花なるべからず。」と説き，幽玄なる美の在り方を追求した。

江戸時代は，儒教にも新たな日本的展開がみられた。伊藤仁斎は，『童子問』の中で「仁の徳たる大なり。然れども一言をもってこれをおおう。曰く(ｂ)のみ。君臣にあってはこれを義といい，父子では親といい，夫婦では別という。…皆(ｂ)より出ず。」と述べ，仁を人道の要として捉えた。彼は，②仁の実現には誠が必要であると考え，誠こそが仁を成り立たせる道徳の根本であると説いたが，ここにも日本の伝統的倫理観の影響を見いだすことができる。

明治時代に入ると，様々な西洋思想が流入してきた。中江兆民は，フランスのルソーの影響を受け，民権について独自の説を説き，アメリカに学んだ③内村鑑三は，日本の伝統的倫理観に世界的な使命を認めた。また，夏目漱石は，イギリスでの経験から，日本の近代化を批判するとともに西洋近代思想と格闘し，やがて④「自己本位」に生きる独自の個人主義を唱えた。

(1)　文中(ａ)，(ｂ)に当てはまる語句または人名を書け。
(2)　下線部分①について，どのような意味か，説明せよ。
(3)　下線部分②について，この主張は儒教の日本的展開の一つであるとされる。その理由を，誠の内容にふれながら説明せよ。
(4)　下線部分③について，彼が主張した「２つのＪ」という考えについて，説明せよ。
(5)　下線部分④について，「自己本位」の内容を，利己主義との違いにふれながら説明せよ。

［６］　次の文を読んで，下の(1)～(7)の問いに答えなさい。

自我の存在を確実なものと考える思想は古来からみられる。ウパニシャッド哲学では，我（アートマン）の存在を認めており，①「無知の知」を説いたソクラテスは，反省的自己の存在を彼の哲学の前提としていた。近代では，デカルトが確実な真理を得るためにすべてを疑い，その結果，疑い得ない存在としての「考える我」を哲学の第一原理とし，②物心二元論を説いた。

一方で，自我の存在に疑問を投げかける思想家もいる。ヒュームは，物体的・精神的実体を否定して懐疑論を説いた。自我についてこのようなとらえ方をしたのは彼だけではない。ブッダは，人間を③色・受・想・行・識の諸要素の集まりと考え，自己への執着から生ずる④三毒を滅する道を説いた。⑤「彼に非ざれば我なし。我に非ざれば取るところなし。」と説いた荘子からは，実体としての自我を否定する考え方がみられる。精神分析学では，フロイトが人間の精神を⑥イド・自我・超自我の三つからなるとし，無意識の世界を探究した。フロイトにより創始された精神分析学の考え方を，言語学の立場から表明し，構造主義の基礎となる考えを示したのが⑦ソシュールであった。

(1)　下線部分①について，ソクラテスが哲学の基本と考えた理由を説明せよ。
(2)　下線部分②について，次のア，イの問いに答えよ。
　ア　デカルトの説いた物心二元論について，説明せよ。
　イ　物心二元論の課題を克服するために，スピノザが主張した考えを説明せよ。
(3)　下線部分③を総称して何というか，書け。
(4)　下線部分④について，それぞれの名称とその意味を書け。
(5)　下線部分⑤について，この言葉で表される荘子の考え方を何というか，書け。
(6)　下線部分⑥について，それぞれの内容について，説明せよ。
(7)　下線部分⑦について，言語に対する彼の考え方を次の語句を用いて説明せよ。
　　差異　　言語体系